

# 令和元年度 地域発 元気づくり支援金【松本地域】事業実施結果一覧表

## 1 地域協働の推進に関する事業

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
地域PRキャラクターを活用した地域活性化事業	両小野地区振興会(塩尻市)	高齢化と人口減少が進む両小野地区において、中学校の総合的学習で考案した地域をPRするためのキャラクター「うとう」を地域資源と結びつけ、新商品開発を目的としたワークショップを開催するほか、着ぐるみを作成してPR活動を行い、地域の活性化を目指す。 ①ワークショップ開催費等 ②着ぐるみ制作費	1,153,076	883,000	地域をPRするためのキャラクターの着ぐるみの作成を行い、ゆるキャラグランプリへの参加やPR動画を作成した。地元の企業等の協力を得ながら、継続して実施できる仕組みづくりに期待したい。
流動の相互関係創出を目的としたコミュニティ拠点創り「信州塩尻中山道贄川 宿場noie坂勘」	信州移住計画(塩尻市)	空家をDIYで整備し、民泊、シェアスペース等の機能を持たせた施設として再利用する。また、同施設を拠点として交流イベントを開催し、地域の活性化を図る。 ①イベント等 ②消防設備等	1,801,167	1,374,000	交流イベント等において多くの参加者が確保できたことについては評価する。今後は自己財源確保に努め、自立運営できるよう努めていただきたい。

## 2 保健、医療、福祉の充実に係る事業

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
おやこ303(さんまるさん)プロジェクト事業	塩尻市	特定健診の対象外である30歳代を対象に、子の3歳児健診時に親の健診及び保健指導を行うことで、生活習慣病の発見や予防対策のきっかけとし、健康意識の向上を図る。31年度は対象者を、40代以上にも拡大し、特定健診の受診率の増加を図る。 ①検査委託料等	500,528	400,000	前年度の取り組みが生かされていない。単なる健康診断と区別するためにも、事業趣旨に沿った事業計画やPR方法の抜本的な改善が必要である。
更生保護支援活動～就業先支援拡大事業～	松本地区更生保護協力雇用主会 そえ木の会(松本市)	刑務所出所者等の就業による社会復帰を支援するため、企業に対して更生保護活動の紹介や雇用主となる企業の発掘を行うとともに、保護観察対象者の就業支援のため、サイトの拡充を図る。31年度は活動報告や会員募集を行うフォーラムを開催するほか、県、市町村への提言書を作成する。 ①チラシ作成費、広告費	676,616	507,000	刑務所出所者等の就業先となる雇用主の拡大に取り組むとともに、更生保護協力雇用主会の活動実績等を報告するフォーラムを開催した。安定した就職先の斡旋が、再犯率の軽減に繋がることが期待できることから、継続的な雇用主の拡大に取り組んでほしい。
大学生・高校生等を対象とした食育出前講座～お財布にやさしく、活用しやすいをテーマに～	公益社団法人長野県栄養士会(松本市)	大学生や高校生が食生活において自立できるように、また、長野県の特徴である健康長寿を支える食生活を実践できるよう、「手軽さ」と「安価」をキーワードとしたテキストを食や栄養について学んでいる大学生や高校生を加えたワーキンググループを立上げて作成し、食育出前講座を実施する。 ①テキスト作成費等	1,658,258	1,233,000	大学生や高校生を加えたメンバーで、手軽で健康的なレシピ集を作成するとともにホームページにも掲載した。今後は、若者の食生活の自立のため、食育出前講座等で周知する等、継続的な取り組みを期待したい。
信州こども食堂ネットワーク食糧庫の設置運営事業	特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州(松本市)	誰でも気軽に交流できる場所として「こどもの居場所」を作るとともに、寄贈の申し出により回収した食材を保管し、各地のこども食堂が食材を受け取り活用できるよう、空き事務所を活用して食糧庫とする。 ①家賃等 ②流し台設置	1,250,984	979,000	こども食堂を実施するための食糧庫を整備した。こどもの居場所としても使用されており、学校でない、家庭でない、第三の居場所としての役割に期待したい。
「我が事丸ごと」地域づくりプロジェクト	並柳団地まちづくり協議会(松本市)	28年度より、県及び松本市の支援事業として、こどもカフェを開設してきた並柳団地町会において、常時開催を目指して、空き店舗を活用し、子どもだけでなく、高齢者も集えるコミュニティーカフェを開設する。 ①店舗賃借料、相談会講師謝金等	1,224,823	779,000	子どもや高齢者の居場所づくりとして、利用者が定着しつつあることは評価できる。今後は自立運営に向け、安定した事業収入が得られるよう自己財源確保に努めていただきたい。
高齢者向け地域支え合い事業	シルバーカフェ安曇野(安曇野市)	安曇野市三郷において企業や地域在住の高齢者ボランティアとともに運営する「シルバーカフェ安曇野」を開設し、体力測定や健康教室、認知症予防講座等の各種講座を定期的開催することにより、高齢者の心と体の健康増進と社会参加を促す。 ①チラシ印刷費、講師謝金	1,358,972	1,087,000	高齢者の健康増進や居場所づくりにあたり、内容を工夫したイベントの継続により、利用者の増加や交流、事業の認知度が向上した点が評価できる。行政機関との連携等、事業の充実や発展に期待したい。
『信州健康かるた ～未来の子どもたちのための健康づくり事業～』	信州メディビトネット(松本市)	未来の子どもたちに向けた健康普及活動の取組として、楽しく健康について学んでもらえるように「健康かるた」を制作し、幼稚園・保育園や児童センター、子ども食堂等に配付するとともに、かるた大会を実施し、より早期からの健康啓発を促す。 ①かるた制作費等	862,030	668,000	子供が楽しく健康知識や生活習慣を学べる取組として「信州健康かるた」を作成した。教育機関等への周知を図りながら、健康教育の推進に努めていただきたい。
カムカムメニューの普及活動	松本歯科大学社会貢献・地域連携推進センター(塩尻市)	信州ACEプロジェクトが掲げる重点項目のうち「健康に食べる」ことを推進するため、メニューコンテスト、試食会等を開催し、噛むことを意識した食事である「カムカムメニュー」の普及活動を進める。 ①メニュー写真コンテスト、広報費等	1,120,942	792,000	噛むことを意識した食事である「カムカムメニュー」の普及活動とし、料理教室やメニュー写真コンテスト(応募総数66点)等を開催した。引き続き大学と地域の連携を図りながら、地域住民の健康寿命延伸や活気ある地域社会活動に期待したい。

### 3 教育、文化の振興に関する事業

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
自転車を活用したまちづくり推進事業	安曇野市	元MTB五輪選手の監修により市内にサイクリングコース(3段階程度)を設定してマップを作成するほか、健康増進等の効果検証のため実証実験やサイクリング教室を実施する。 ①コース設定委託料等	3,612,318	2,311,000	自転車による健康づくり実証実験やサイクリング教室の実施等、自転車利用の推進や交通事故の抑制に向けた取組が実施された。客観的な指標による評価を行う等、事業の検証や充実に努めていただきたい。
松本山雅と「共開突破！」地域に元気をつくる事業	生坂村	昨年、ホームタウンとなった松本山雅FCと連携し、村民の健康増進に繋がる講座を開催するほか、村外からも参加できるランニングイベントを開催することで、交流人口の増加を図る。 ①ランニングイベント開催等	1,406,189	1,073,000	松本山雅FCと連携した各種イベント等について、参加者数が目標値に届かないイベント等がある。イベント内容の見直しを図るなど、村民ニーズに対応した事業となるよう努めていただきたい。
遊ボール(あそぼーる)松本プロジェクト	遊ボール松本運営委員会(松本市)	松本市内の保育園や幼稚園において、野球関係者が遊ボール野球教室を開催し、遊びを通して、スポーツの楽しさを知るきっかけづくりと幼児期からの運動習慣を。 ①ストラックアウト等購入費 ②ワイヤレスアンプ	759,611	600,000	幼児期からの運動習慣を推進するため、野球教室を開催し、スポーツの楽しさを園児に伝えることができた。更なる参加者の拡大を図るとともに、他地域への周知・啓発に努めていただきたい。
大学生と県内企業をつなぐ「大しごと一く in 信州2019」の開催とプログラムマッチングを目的としたインターンシップ検索サイト「信州キャリアラボ」の構築	国立大学法人信州大学キャリア教育・サポートセンター(松本市)	信州大学をはじめとする県内大学生や高校生が、県内企業やちいきを知る機会がなく進路選択をしている状況を改善し、人材の地域定着を促進するため、学生と県内企業が交流するイベントを開催するほか、インターンシップ検索サイトを制作する。 ①イベントの開催、Webサイトの制作費	6,250,000	5,000,000	「大しごと一く in 信州2019」を開催し、企業と学生を繋ぐ取組を実施するとともに、インターンシップ検索サイト「信州キャリアラボ」を構築した。本事業は、県内への移住・定住の推進に寄与することが見込まれることから、今後も継続して実施していただきたい。
井口喜源治の教育を学び合うことを通じた、生涯学習振興に資する事業	一般財団法人井口喜源治記念館(安曇野市)	信州教育の源流として讃えられてきた井口喜源治の足跡と教育理念を学ぶ講演会や勉強会の開催を通して、次代を担う若者だけでなく地域住民の生涯学習の振興を推進する。 ①講演会開催費等 ②掲示板	1,420,213	1,048,000	企画内容を工夫し、計画以上の聴講者や来館者があった。事業の効果が学校や企業の取組に反映されるような提唱や成果の検証にも及ぶよう継続していただきたい。
第2回日本三百名山鉢盛山2447登山マラソン大会	日本三百名山鉢盛山2447登山マラソン実行委員会(朝日村)	日本300名山の一つで朝日村のシンボルでもある鉢盛山において登山マラソン大会を開催し、県外から多くの人に参加してもらうことで交流人口の増加を図るとともに、村民がボランティアスタッフとして参加することで、村全体で盛り上げる村民参加型イベントを目指す。 ①業務委託費 ②音響システム購入費	7,961,965	4,647,000	昨年度開催された第1回大会の課題を改善し、参加者数・参加者満足度共に前回は上回る結果となった。今後どのように村民の積極的な参加を継続させていくか、どのようにマラソン大会としてのブランド化を進めていくかについては、更に考えを深めていく必要がある。
「ことばで育む子どもの未来」事業	塩尻市	絵本をテーマとした親子向けの講演会や絵本作家と親子との体験型ワークショップの開催、絵本作家による壁画作成見学ツアーなどを通して、絵本を通して親子のコミュニケーションを促し、子育て支援に寄与する。 ①講師謝金等	1,947,905	1,544,000	絵本作家によるワークショップや壁画制作を行うことで、単なる読みきかせ以上の企画内容による子育て支援事業の取組が実施された。親子に加え地域住民も参加する事業として発展することを期待したい。

「おみごと！」な麻績のお宝再発見事業	麻績村	国重要文化財をはじめ多くの文化財を有する麻績村において、麻績の語りべや地元学芸員の話映像化するほか、文化財を一元的に管理するために文化財GISシステムを構築し、データの活用を図る。 ①GISシステム構築等	1,391,669	1,043,000	文化財を紹介する語りべや学芸員の映像化や文化財GISシステムの構築等を行った。作成した資料や映像の有効活用に期待したい。
子どもとメディアについて教えるメディアインストラクター養成事業	子どもとメディア信州(松本)	子どもとメディアの安全な付き合い方を教えるメディアインストラクターの養成に取り組み、メディアに関する諸問題への正しい知識を身に付け、学校等で啓発活動を実施する。 ①講師謝金等	566,270	442,000	子どもとメディアについて正しい知識を伝える、「メディアインストラクター」を31名養成することができた。今後は育成したインストラクターによる啓発活動に期待したい。
無差別級 日本酒利き酒コンテストと発酵食品 子供食べ比べチャレンジの開催	長野県酒造組合 若葉会(松本市)	日本の伝統文化である日本酒造りや麴を中心とした発酵文化に対する県民の理解を深めるため、誰でも参加できる利き酒選手権と子ども対象の味噌、甘酒等の食べ比べコンテストを開催する。 ①会場、広告費等	1,404,340	1,045,000	告知やイベントPRを効果的に行っており、多くの参加者を確保することが出来た点は評価できるが、一過性のイベント開催事業にらぬよう地域への波及効果を高めるための事業内容の更なる工夫が必要である。

#### 4 安全・安心な地域づくりに関する事業

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
乗鞍岳火山防災マップ作成・印刷事業	松本市	乗鞍火山防災協議会の策定する避難計画に基づき、防災行動、最新の知見等を掲載した「乗鞍岳火山ハザードマップ」を作成し、登山客等の受入れ体制を強化するとともに、地域住民、登山客等に配布し防災意識の醸成と防災力の向上を図る。 ①火山防災マップ印刷費	330,000	264,000	乗鞍岳火山防災マップを作成し、観光客・登山客等への周知・啓発を図るとともに、旅館・山小屋等集客施設への出前講座等を実施した。今後も継続的な防災活動の寄与に努めていただきたい。
「自らの命は自らが守る」災害リスクマネジメント事業	生坂村	自主防災組織役員や区役員との防災懇談会や防災訓練を行い、住民の意見を反映した防災マニュアル、ハザードマップを作成し、村内全戸に配布して地域防災力の向上につなげる。 ①マップ作成費等	3,148,860	2,519,000	事業実施により、地域防災力の向上が図られたと評価できる。今後も、災害に備えた体制の整備と防災意識向上を図る取組の継続に努めていただきたい。
地域公共交通再構築！！「筑北えべさー」出発進行プロジェクト	筑北村	H30年度に実証運行した時間帯デマンド型乗合バス「筑北えべさー」の7月の本格運行に向け、停留所の増設、運行時間の拡大等により利便性向上を図るとともに、住民への啓発用パンフレットの作成、公共交通に関する講演会を開催する。 ①パンフレット・ポスター印刷費等 ②バス停表示板	655,560	497,000	時間帯デマンド型乗合バス利用促進のため、パンフレットの作成や講演会を行った。長期的な事業の啓発や分析により、さらなる利用促進に努めていただきたい。
松本地区の動物愛護の推進活動	一般社団法人ゆめまるHAPPY隊(松本市)	保健所で保護された犬を引き取るシェルターを設置し保護活動を行っているが、31年度は、地震等災害時にペットの安全が確保できるシェルターの整備、災害への備え等に関する飼い主への啓発活動等を行う。 ②施設改修工事	2,932,000	2,199,000	災害時ペット避難シェルターの整備(ハード)及び啓発・譲渡活動(ソフト)の両立により事業が実施された。施設を活かした愛護活動の継続により、譲渡チャンスを増やしていただきたい。
「信州山のおもてなし」推進事業	常念口登山案内人組合(安曇野市)	全国一の人気を誇ると同時に遭難者が最も多い山系である北アルプスにおいて、登山者の安心、安全を守り続けてきた登山案内人組合の活動や山の素晴らしさをまとめたDVDを作成し、組合の後継者育成に努めるとともに、インバウンド向けの英語版も作成し、広域観光の推進に資する。31年度は5つの登山案内人組合が協働してDVDを作成する。 ①DVD作成費等	3,846,200	3,076,000	作成したDVDについて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上映会による普及啓発が中止となった。DVDの配布にとどまらず、登山者に対する安全啓発や案内人育成のツールとして効果的に使用する工夫をしていただきたい。
筑北村防災自助力向上事業	筑北村	大規模地震等が全国各地で起こり、防災・減災対策が求められる中、村民一人ひとりの自助力を高めるため、防災備蓄物資を村内全戸に配付するとともに、村総合防災訓練を実施する。 ①非常用持出袋等購入	8,359,200	2,284,000	防災備蓄物資の全戸配布や総合防災訓練等を実施することで、住民の自助・共助の防災意識の向上に繋がり、台風19号災害では混乱もなく避難することができた。引き続き防災訓練等を実施していき、住民の防災意識の向上に努めていただきたい。

## 5 環境保全、景観形成に関する事業

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
生物多様性保全事業	松本市	生物多様性の保全に対する関心を高めるため小中学生とその保護者を対象とした環境学習会を開催するほか、地元住民と協働で希少種の保護回復と啓発活動を行う。31年度は、乗鞍高原で草原環境の植物相調査を市民参加型で実施する。 ①調査委託費、講師謝礼	845,220	633,000	生物多様性保全に対する関心を高めってもらうため、環境学習会、生物多様性モニタリング調査等を実施した。本事業で得たノウハウと成果品を今後の事業に生かしていただきたい。
有機資源の地域循環形成事業	朝日村	一般廃棄物に含まれている剪定木や生ゴミ等の有機資源を排出者自身が有機資源化する取組を推進するため、設備の整備、講習会を行い、村内のごみの排出量の削減を図る。 ①講師謝金 ②ウッドチップパー	758,400	567,000	剪定木の減量については目標の達成に至らなかったものの、講習会へは71名が参加し、貸出事業の中で29m <sup>3</sup> 分の剪定木の処理を行うことができた。引き続き、住民に対する啓発等継続的な取り組みにより、ごみの減量に努めていただきたい。
「安曇野ふるさと遺産」活用事業	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団(安曇野市)	失われつつある安曇野の貴重な文化遺産を「安曇野ふるさと遺産」として表彰し、安曇野の暮らしに根付いた生きた文化財として地域住民との協働により保存活用を図る。 ①リーフレット作成費等	915,100	675,000	普及イベントの実施や団体との協定締結等、事業目的の達成に向けた取組が実施された。認定遺産の活用や保全が継続的に行われるよう、行政や地域と連携した仕組みづくりに努めていただきたい。

## 6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (1) 特色ある観光地づくり

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
いま注目の文化財で観光PR事業	朝日村	昨年度、村の縄文土器が「信州の特色ある縄文土器」の一つとして県宝に指定されたことに加え、山城人気により県史跡の武居城跡を訪れる人も多いため、「縄文」も「山城」もある村の文化財を総合的に紹介できる環境を整備し、広く観光PRを行う。 ①文化財サイト構築等	1,659,734	1,326,000	住民の参画により、地域における保護活動の機運を高めることができた。今回の取組をきっかけとして、地域住民の保全活動への継続的な参加と、外に向けた文化財のPRをどのように進めていくか、今後の展開に期待したい。
COOLな松本エリアProject	松本広域連合	信州花フェスタの開催にあわせ、松本エリアの周遊を促すスマホで参加するスタンプラリーを実施するほか、インバウンド向けに、ストリートビューに公開されていない、各市村を代表する観光施設、景観のパノラマ撮影を行って公開するとともに、英語版周遊マップを作成する。 ①英語版ガイドブックの作成等	6,120,808	4,896,000	全国都市緑化信州フェアの開催にあわせて実施した「スマホdeスタンプラリー」は、地域の観光スポットを紹介するとともに、本企画のプレゼント商品に地域の特産品を扱うなど、観光情報の発信に貢献した。引き続き当地域への観光誘客に尽力していただきたい。
訪日外国人旅行者にとって魅力ある観光地づくり事業	魅力ある観光地づくり実行委員会(松本市)	外国人旅行者向けに体験の情報発信、予約のできるホームページを英語、中国語、仏語で翻訳して作成するほか、体験プログラム等を掲載した冊子を作成し、松本城等で配布する。 ①ホームページ制作費等	3,452,700	2,762,000	多言語でのホームページや冊子の作成、ソーシャルメディアを活用したPRを行った。観光客誘致のため、引き続き松本市の魅力発信に努めていただきたい。
北アルプスエリアにおけるインバウンド向け魅力体験ツアー及びサイクリングツアーの実施	日本アルプス観光連盟(松本市)	松本市から小谷村までを巡る北アルプスサイクリングツアー(5、10月)を開催するのに併せ、台湾旅行代理店を招聘して同ツアー及び体験コンテンツ等の体験記を発信し、福岡空港経由でまつもと空港を利用する台湾からの誘客を図るほか、集客ツールとして繁体字及び英語のパンフレットを作成する。 ①繁体字パンフレット製作等	2,472,248	1,750,000	サイクリングツアーを2回開催するとともに、台湾旅行会社招聘による魅力体験ツアーを実施した。インバウンド向け商品の充実を図りながら、観光誘客に繋げていただきたい。
美ヶ原高原 ブランド化推進事業	美ヶ原観光連盟(松本市)	美ヶ原高原の「星空」を新たな魅力として発信するため、標高2,000mから星空を楽しむイベントを開催するとともに、ボランティアガイドのスキルアップを行う研修会を実施することで観光の質を高め、観光入込客数の増加を図る。 ①イベント運営委託費等	623,160	467,000	美ヶ原高原の「星空」の魅力発信のため、観測イベントやガイドのスキルアップ研修を実施した。今後は、観光客が増加するよう、イベントの工夫や、広報など、事業の更なる充実を期待したい。
新価値創造モデルを活用したコンテンツ開発および地域PR推進事業	一般社団法人松本市アルプス山岳郷(松本市)	アルプス山岳郷エリアにおいて現状調査、ワークショップ開催等によりコンセプト案を作成し、コンセプト評価調査を基に地域資源を活かした魅力的なプログラム案を開発して、交流人口の拡大と地域経済活性化を目指す。31年度は、プログラム案を具体化し、モニターツアーを行う。 ①コンセプト及びプログラム案作成等委託費	6,109,936	4,887,000	プログラムの実売に向けた具体的な準備・検証と、ウェブサイト等を活用したPRを進めることができた。これまでのデータ分析結果やモニターツアーの結果をどのように活かし、プログラムの実売につなげていくか、今後の展開に期待したい。
ワインバス運行事業	一般社団法人塩尻市観光協会(塩尻市)	JR塩尻駅及び信州まつもと空港利用のワイナリー見学者を対象とした市内のワイナリーを巡回するシャトルバスや、高速バス利用者向けの松本市及び安曇野市のワイナリーとを結ぶ広域周遊バスを運行させ、松本地域の観光産業の発展やワイン産業の発展を得る。 ①バス運航費、広告費	2,181,916	1,745,000	30年度に引き続き、信州まつもと空港利用者をターゲットにした運行や新規ワイナリーを含む広域周遊を実施した。今後も、空港利用者の着地型旅行プランとして定着するよう、運行を継続していただきたい。
安曇野シェアサイクル事業	一般社団法人安曇野市観光協会(安曇野市)	滞在時間延長、周遊観光推進のため、西山山麓エリアにシェアサイクルを導入する。31年度は、新たに6か所のステーションを整備し、計16か所とするほか、周遊コース等を掲載したガイドブックを作成する。 ①ステーション等リース料等 ②自転車等	5,758,887	4,426,000	前年度の利用データの分析を行い、事業内容に反映するなど、効果的な事業展開により利用者が増加した。観光事業者等との連携により利用者の増加を図り、持続的な運営体制を整備していただきたい。

重伝建奈良井宿・漆工町木曾平沢回遊誘客事業	一般社団法人塩尻市観光協会(塩尻市)	木曾平沢の木曾漆器を活かした観光振興のため、「木曾漆器」で装飾を施したボンネットバスを来訪者の多い奈良井宿と結ぶ「奈良井宿～木曾平沢無料シャトルバス」として運行し、地域内の回遊性向上を図る。 ①バス運行委託料等	2,175,700	1,740,000	奈良井宿から木曾平沢間の無料シャトルバスを運行することで、檜川地区での滞在時間延伸に繋がり、来訪者へ利便性の確保と地域産業の活性化に繋がった。引き続き同地区の活性化に繋がる取組みに期待したい。
TOKYO2020広域連携によるインバウンドおもてなし事業	朝日村商工会(朝日村)	朝日村及び山形村において、インバウンド客の来村を促すため、英語と中国語によるガイドブックを作成し、広域連携事業で作製した両村のポータルサイトに掲載し、海外に向け情報発信を行う。 ①ガイドブック作成等	973,280	775,000	外国人観光客をターゲットとした、山形村・朝日村エリアをPRするためのガイドブックを作成することができた。新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみながら、ガイドブックを活用した観光PR・情報発信を推進していただきたい。

## 6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (2) 農業の振興と農山村づくり

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
生き生きいくさか 農業所得向上応援プログラム事業	生坂村	通年農産物栽培ができる施設園芸農業の基盤整備を行い、集落営農組織や村内有志団体に貸し付けることにより、冬期間の農産物生産体制を整備し、農産物直売所「いくさかの郷」で一年を通して安心・安全な地元産野菜を販売できる体制を整える。 ①土壌分析委託料等 ②ビニールハウス建設	6,411,017	4,834,000	新規就農や農業振興を目的とした施設整備が整いつつある。今後は、施設整備を図るとともに、新規就農及び農業所得の増加に向けたソフト事業の推進に期待する。

## 6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (3) 森林づくりと林業の振興

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
朝日村の森林資源を有効活用したクラフト家具の作成・体験及びPR事業	朝日村	ゲストハウス整備に合わせ、村産カラマツを使った家具を製作するとともに、県内外のイベントへの出展や村営のクラフト体験館での木製家具作成の体験プログラムの提供を通じ、木工クラフトのブランド化や村産材消費量の向上、村の交流人口の拡大を図る。 ①クラフト家具製作、運搬費 ②家具製作	1,960,180	1,542,000	販売に向けた協力体制が構築された点が評価できる。商品カタログが完成したが、それを今後どのように活用し効果的なPRを行っていくか、また、商品売っていくための具体的な戦略については、更に考えを深めていく必要がある。
エクステリア&ガーデンフェスタinまつもと 普及推進事業	エクステリアガーデンフェスタ実行委員会(松本市)	信州花フェスタのタイアップ催事として開催される庭等の住宅外構を施行する事業者による出展イベントで、今年度は松本山雅FC社長による講演会を行うほか、信州産材を使用した庭づくりの提案や木製品の魅力を発信し、信州産材の普及促進と地域産業の活性化を図る。 ①イベント開催	812,160	609,000	信州花フェスタの開催にあわせ実施したことで、より多くの参加者を確保できたことは評価できるが、一過性の取組とならぬよう、継続して信州産材の普及啓発に取り組んでいただきたい。



## 6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (4) 商業の振興

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
かあちゃんたちの「生坂ブランド」グレードアップ大作戦事業	公益財団法人 生坂村農業公 社(生坂村)	平成31年4月にオープンする道の駅への出店を控え、若い部員が活動の中心となり、パッケージへの関心も高まっていることから、若い部員の意見、提案を取り入れたパッケージのリニューアルを行う。 ①パッケージ製作等	2,627,198	1,970,000	特産品のパッケージリニューアルのみならず、商品のPRを目的とし、県内外の物販イベント等へ積極的に出展するなど普及啓発への取組は評価できる。引き続き、商品の普及啓発を図るとともに、自己財源の確保に努めていただきたい。

## 6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (5) その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
麻績村営農支援横断プロジェクト	麻績村	遊休荒廃地解消のため、村民団体の活動により作付された麦・そばを刈取るコンバインの整備を行い、作業の合理化・省力化を行うことで活動の継続を支援するほか、高齢者や新規就農者を含めた農業者の営農支援、更には就農を見据えた移住定住に繋げる。 ②コンバイン購入	6,156,000	4,617,000	遊休荒廃地解消のため、汎用コンバインが導入された。イニシャル、ランニングコストから利用料を算定し、継続的な運用ができるよう努めていただきたい。
有機で創る元気な里づくり事業 ～スーパーぽかしを使った野菜作り～	生坂村	よもぎ酵素を使った独自の有機肥料による生坂村ブランド野菜のブランド野菜の構築に取組み、村内の農産物直売所「いくさかの郷」に冬季でもより良い状態での出荷をできるような体制を整備する。 ①有機肥料材料等 ②加工機械整備	2,589,946	1,954,000	生坂村独自の有機肥料を活用することで農作物のブランド化を推進する一定の効果があつたと評価するが、より効果を高めるために、当該有機肥料の普及啓発及び肥料を活用したブランド野菜としてのPRを継続して行う必要がある。
復活！生坂産「ころ柿」事業	生坂村	収穫されず放置される柿を商品化するため、干し柿の生産量増加による「ころ柿」ブランドの復活や村の授産施設における就労機会の確保を図る。31年度は干し柿生産資材等を整備する。 ①収穫コンテナ等購入 ②動力噴霧機	581,200	453,000	「ころ柿」の安定供給に向けた施設整備が整いつつあり、品質向上に向けた取組が行われている点について評価する。引き続き生産拡大に向け努めるとともに、事業収入の確保に努めていただきたい。
女性のための起業・複業お仕事マルシェ信州プロジェクト	日本一女性が 起業しやすい まちづくり信州 実行委員会 (松本市)	地元の女性が「起業」という働き方に気軽に興味、関心を持てるようなブースや既に起業している女性の相談・情報提供窓口を設けたイベントを開催し、女性の起業を応援する。30年度はホームページを開設し、イベントへの出店、参加情報等を掲載する。 ①広告掲載、ホームページ制作費等	1,998,452	1,598,000	ウェブサイトを開設し多種多様な情報を発信するとともに、イベントの開催にあわせて、地域で活躍する女性起業家を紹介する冊子を作成した。毎年新たなアイデアを取り入れながら実施した積極的な取り組みが多くの人を惹きつけた。引き続きの取組に期待したい。
信州ギター祭り2019	信州ギター祭り 実行委員会 (松本市)	ギター製造全国シェア50%近くを占める信州産ギターの品質の高さを県内外にアピールし、安定した生産、流通を目指すため、ギター展示のほか、ギター製作の実演やオーダーメイドギターの相談会等信州産ギターのブランド化を目指すイベントを開催する。 ①会場費、広告費等	782,971	587,000	信州産ギターのPRやブランド化を目指す「信州ギター祭り2019」を開催した。今後は自主財源の確保に努め、継続的な開催をを期待したい。

地域共同集配システム導入による地産地消推進実証事業	松本地域地産地消研究協議会(松本市)	松本地域内の農産物直売所を農産物の集荷バス停と見立て、松本市内の飲食店、旅館等の専用の荷受けバス停へ届け、農業者と飲食店等が共同利用する集配システムと物流機能を活用して地産地消の効率化の実証を行う。 ①運送業務費等	6,496,384	4,974,000	松本地域内の農業生産者と飲食店・旅館等の経営者を繋ぐ取組として、農産物直売所など12拠点を集荷・配荷の基点とする地産地消モデルを展開した。この取組の更なる周知を図るとともに、中山間地域の多くの少量生産者が出荷できる取組を期待する。
「新しい地図」事業～信州まつもと空港⇄宮古島・下地島空港を繋ぐ～	一般社団法人松本青年会議所 まちの魅力発信委員会(松本市)	まつもと空港と同様に「訪日誘客支援空港(育成支援型)」に認定された沖縄県宮古島市の下地島空港へのチャーター便を運航し、宮古青年会議所との経済交流を実施することで、同空港との定期便就航を目指し、松本地域において宮古島市のPRを行う。 ①チャーター便貸切費用等	5,403,860	4,313,000	台風等の影響があり、当初の目的であるチャーター便を活用した事業は実施できなかったが、宮古島の魅力発信や経済交流の足掛かりを作るなど一定の成果が得られたと評価できる。
長野県高等学校コマ大戦の実施	まつもと広域ものづくりフェア運営委員会(松本市)	コマ大戦の実施により、工業高校の生徒の活躍を通して、来場者の小中学生にもものづくりや理工学に関心を持ってもらうとともに、参加する高校生に日頃の成果、技術力を発表する場を提供する。31年度は、高校生が企業の職人からコマ製作に応用できるような技術の指導を受ける機会も設ける。 ①コマ対戦運営費、広告費等	982,562	786,000	県内の6校22チームが参加するコマ大戦を開催した。中継映像の発信、のぼりや看板等を設置することで周知活動の充実を図った。今後は高校生に技術支援を行い、さらなる大会の発展に期待したい。
松本発の住民参加型の医工連携ものづくりモデルの構築	信州メディカル産業振興会(松本市)	患者及び看護、介護する家族がユーザーの立場で参加できる医療機器を考えるセミナー、ワークショップの開催により、今まで、医師と企業で行ってきた医療機器等の開発にユーザーである住民が参加し、医師や地域企業とともに松本発の医療機器、介護用品等を開発する住民参加型の医工連携ものづくりモデルを目指す。 ①セミナー開催費、パンフレット制作費	694,566	555,000	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業内容の大幅な縮小が余儀なくされたことは残念だが、限られた時間の中で、試作品が完成させることが出来た点は評価できる。試作品を活用した今後の取組に期待する。
若者の就労支援事業実施のための施設の改修工事・増設工事	NPO法人ジョイフル(塩尻市)	不登校や引きこもり等により、就労意欲はあるがその機会が得られない若者や発達障がいのある若者等に対して、支援計画の作成、就労トレーニング及び就労場所のマッチングを行っている団体が、支援を充実させ、多くの利用者を受け入れられるよう、施設の改修・増設工事を行う。 ①室内備品等 ②支援室の設置工事等	3,658,531	2,756,000	就労機会が得られない若者や発達障がいのある若者等への支援拡充のため、施設の改修・増設工事を行った。今後は、施設の更なる活用が図られるよう取組に期待したい。
信州安曇野田んぼアート事業	信州安曇野田んぼアート実行委員会(安曇野市)	NHK大河ドラマ「いだてん」を題材とした田んぼアートを安曇野スイス村周辺において実施し、北アルプスと屋敷林という安曇野ならではの借景により演出効果を高め、「信州 安曇野」の魅力在全国に発信する。 ①イベント開催費等 ②会場設営費	19,663,880	5,000,000	水田をキャンパスに見立てた「田んぼアート」を実施し、安曇野の新たな観光イベントとして、6万人以上の入場者がある等、地域への誘客効果あった。自己資金の確保等、事業の継続に向けた運営体制の構築に努めていきたい。
Let' enjoy いくさかを五感で感じる観光事業	生坂村観光協会(生坂村)	大城・京ヶ倉のトレッキングコースを活かし、指定ポイントを撮影した写真を村内の施設で提示すると、登頂した証としてもらえる登頂バッジを作成するほか、トレッキング、ラフティング等のアウトドアの魅力を発信するためVR動画を作成する。 ①登頂バッジ作成費等 ②登山道整備	3,530,568	2,802,000	観光PRを推進するための看板整備などが整いつつある。今後は整備された観光資源等を活用し事業効果をさらに高められるよう努めていきたい。
”コンパクトヴィレッジ山形村”地域の賑わい創出のための産業振興事業	山形村商工会(山形村)	山形村の商工業者の商品や製品、農産物を含む特産品を広く村内外に宣伝・紹介し、販路開拓を図るため、「山形じゃんずら」や「道祖神と新そば祭り」に合わせ「山形村産業フェア」を開催し、地域の賑わいを創出する。 ①パンフレット印刷費等 ②テント購入費等	1,410,803	1,021,000	村内企業の販路開拓を図るために、「山形村産業フェア」を年2回開催した。新規出展企業も含め26社の出展企業があり、企業のPRや販路拡大に繋がった。継続した事業展開により販路拡大に期待したい。

あさひの採れたて野菜を楽しんで！	朝日村女性農業者担い手協議会(朝日村)	朝日村で地産地消に取り組む団体が、村内で採れる野菜のレシピ本を作成し、全世帯に配布するほか、JAが全国に発送している朝採り野菜の詰め合わせに入れて朝日産野菜のPRを行う。 ①レシピ本作成	1,122,660	898,000	朝日産野菜をPRするためのレシピ集を作成したが、単なる冊子作成に留まらず、レシピの募集からレシピ集の制作まで広く住民の参画を得ることができ、またその中で既存住民と移住者との交流を促進することができた。イベントや料理教室等、引き続きの取組に期待したい。
筑北地域の買い物弱者対策「おたがいさまネットワーク事業」	筑北村商工会(筑北村)	高齢者世帯や独居世帯が多い筑北村において、生鮮食料品、日用雑貨等を移動販売するにあたり、軽自動車タイプの販売車を購入することで玄関先や細い路地まで入ることが可能となり、顧客のニーズに応えるほか、地域の見守り隊として地域福祉にも貢献する。 ②移動販売車購入費	4,083,551	2,520,000	軽自動車タイプの販売車の導入により、より細い路地や玄関先にまで進入し、身体が不自由な住民や高齢者等の生活の支援を行うことができた。商品販売だけに留まらず、取組の更なる展開に期待したい。
地域資源発掘・発信プロジェクト	中山地域づくり協議会 活性化部会(松本)	地域資源を紹介する総合カタログを作成し、近隣へ配布することで、交流人口の増加を図るとともに、商業施設等へ地域の特産品のPRを行い、販路拡大を図る。 ①カタログ作成	800,800	628,000	カタログの制作が遅延したものの、地域資源の集約が図られた。今後は交流人口の増や販路拡大に向けた取組みに期待したい。
松本市波田恋人の丘活性化事業	恋人の丘活性化実行委員会(松本市)	松本市波田地区の活性化を図るため、「恋人の丘」を中心にしたウォーキングコースを開発し、コースの整備を行うとともに、コースマップを作成し、周辺地域の集客を図る。本年度は、開設したコースを利用してウォーキングイベントを開催して広く参加者を募ることで、参加者の健康増進及び地域の活性化を図る。 ①イベント開催費等	760,342	525,000	ウォーキングイベントに40名の参加があり、地域の歴史や産業などの情報発信をすることができた。また、地元の産物を活用した試食会も開催して新商品開発に繋げた。引き続きイベントの開催、地元の産物を活用した商品開発で地域活性化に期待したい。
信州100年企業創出構想:あしたシナリオ創造ゼミ	信州大学 学術研究・産学官連携推進機構(松本)	地域企業内のマネージャー人材の育成を目的としたゼミを開催し、産業の担い手育成を支援する。 ①シンポジウム等開催	1,428,898	1,093,000	中核的人材育成のためのセミナー、ワークショップを開催し、地域人材の発掘と育成を進めることができた。今後、育成した人材や企業間のネットワークをどのように活用していくかについては、更に考えを深めていく必要がある。
漆器製品の開発および需要促進事業	ゴー・グローバル(塩尻市)	新たな木曾漆器製品の商品化を推進し、PR戦略を練り、効果的な売り出し方について検討していく。また、海外での販売を視野に、見積りシステムの構築の準備を図る。 ①企画費等	1,705,440	1,364,000	新たなイメージ戦略による漆器製品の開発やマーケティング方針が、目標とする長期的な販売システムの構築にまで至らなかった。課題を整理し、関係機関との調整や連携による事業の実現に期待したい。
水田耕作放棄地をもち麦に転作活用し商品化を目指す事業	麻績村サポーターOMIMO(麻績村)	耕作放棄地を活用し、麦等を栽培し、商品化することで耕作放棄地の防止を図る。本年度は収穫した麦を精麦する機器等を購入する。 ②精麦機等購入費	1,042,388	784,000	耕作放棄地の防止のため、大麦の選別、精麦、保存を行う機器を導入した。今後は作付け圃場の拡大や製品のPR等により、さらなる耕作者の拡大や周知に期待したい。

## 8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業

事業名	申請者	事業内容(事業計画) ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)		講評
				うち支援額	
バルシューレを活用した村の魅力創出事業	朝日村	子育て世代の移住促進のため、幼児向け運動プログラム「バルシューレ(基礎運動能力・自発性・社会性が身につけるための教育研究を背景としたボール運動教室)」の講習会を開催することで子育て環境を充実させ、村の魅力向上につなげる。 ①バルシューレ開催費等	2,805,000	2,244,000	住民にバルシューレを紹介するとともに、5名の指導者を育成することができた。今後住民に対しどのようにバルシューレの浸透を図っていくか、また、首都圏在住者に対しどのように移住先として朝日村をPRしていくかについては、更に考えを深めていく必要がある。
ちくほくフットパス(朝さんぽ)の応用による村の観光づくり	筑北村	地域の自然や文化等の風景を楽しみながら歩く「フットパス」による観光誘客等を図るため、村内の3駅周辺の探索コースマップと施設間の移動距離、トレッキングコースの所要時間案内を記載したマップを作成する。 ①マップ印刷費等	628,100	479,000	地域別に、見やすく親しみやすいコースマップを作成した。今後は、コースマップを利用して楽しんでいただくよう、効果的な情報発信をするとともに、交流人口の増加、移住促進等に繋げていくことを期待したい。
松本地域の異業種連携事業「ゆかたキャンペーン」2019	ゆかたキャンペーン実行委員会(松本市)	商店街連盟と連携し松本市街地で「ゆかたキャンペーン」を開催し、地域の伝統行事の伝承やにぎわいの創出を行う。また、オープニングイベントとして駅前広場で、ゆかたを着て参加してもらう盆踊り大会、ゆかたコンテストを開催するほか、31年度は英語、中国語のチラシを作成し、外国人観光客にも周知する。 ①会場設営費、チラシ印刷	1,983,620	1,549,000	地元住民主体のもと各団体と連携を図り「ゆかたキャンペーン」を開催した。外国人や観光客も巻き込んだ、盆踊り・ゆかたコンテストにより、「ゆかた」の伝統や魅力を発信することができた。引き続き「ゆかたキャンペーン」の継続的な開催に期待したい。
塩尻の新たなファン創出事業(認知度の向上、地域イメージの浸透)	塩尻市シティプロモーション活動協議会(塩尻市)	「子育て世代をターゲットする野外体験ツアー」やワイナリーや木曾平沢、奈良井宿等の街並みを巡る「塩尻の文化・歴史を深く知るツアー」を実施し、移住へのきっかけづくりを図る。 ①ツアー開催費等	1,889,565	1,511,000	野外体験活動を通じて、塩尻市に自然や歴史、文化の魅力を発信することで、同市を認知してもらいファン創出に繋がった。今後はファンから移住者に繋がることを期待したい。
山形村の歴史遺産を未来につなぐ事業～道祖神編～	山形村観光協会(山形村)	山形村において、村内の「双体道祖神」の音声ガイドを観光協会のホームページに掲載し、QRコードの利用により、スマートフォンやタブレット等で音声ガイドを聞くことができる仕組みを構築するとともに、そのQRコードを掲載した道祖神マップを作成し、道祖神巡りの旅行ツアー等を積極的に誘致する。 ①音声ガイド制作費等	1,906,434	1,495,000	音声ガイドやQRコードを活用した、システム構築することで、道祖神巡りツアー受け入れ態勢の充実を図ることができた。今後はガイド育成を行いながら継続した事業実施に期待したい。
第2回ゼロエミッション体験会	麻績村観光協会(麻績村)	ソーラー充電バイクや電動アシスト自転車で村内の旧跡・名所等を巡り、麻績村の魅力発信とゼロエミッションのPRを図る。 ①ツアー費	1,125,297	651,000	松本工業高校の学生を講師に招いた自動運転車の工作や、ソーラー充電バイクポイントツアーを開催した。今後の事業継続による、さらなる地域交流を期待したい。